

## 映画館にて

杉浦陽子

二十年も前

恒例だったオールナイトの映画祭に

小学生だった息子を連れて毎年通った

夏休みの五日間に映画街が夜通し賑わう

目当ての映画をはしごして

子連れで明け方まで見続けた

小劇場も大スクリーンの劇場も

人気の作品は立ち見になり

運良く空席に滑り込んでも

息子と離れた席になる事もある



少し離れた前の席に座った小さな肩と  
スクリーンに照らされ闇に浮かぶ頬を  
ちらりと眺めると胸が熱くなった

今ならR指定の作品ばかりで

濃厚なベットシーンもあったり

それでも息子の事など二の次で

私は貪るように映画を楽しんだ

ケビンコスナーのダンス ウィズ ウルブス

ブラットピットのセブナイヤーズ イン チベット

大作に圧倒されて

フラフラしながら映画館を出ると

空は明け始め空気が澄んでいた

ちょっと難しかったねと声を掛けると

でも何となく分かったよと頷いた

アメリカの先住民の苦闘

チベットの幼きダイラマの孤独

親の私が教えることも出来ない世界と歴史が

スクリーンに雄大なパノラマになって広がる

その前で身じろぎもせず二人で

映画の世界に抱かれた時間の熱は  
不思議だが今も私の中に続いている